

「手のびびり」でも困ら ではありませんか？

札幌宮の沢脳神経外科病院
村上 友宏

手のしびれは、神経の周囲の血液の流れが悪かったり、神経が直接圧迫されて神経自体が傷ついたりしたときなどに起こります。

頸椎（けいつい）症は首の骨の一部に骨棘（こつきよく）と呼ばれる突起が生じ、頸椎椎間板ヘルニアは骨と骨の間にある柔らかい組織が飛び出し、それらが脊髄や、手に分布する神経を圧迫するために手のしびれ、脱力が生じてきます。頸椎症によるしびれは、ゆっくり進行し、経過が長いと筋肉が痩せて筋力も低下します。頸椎椎間板ヘルニアのしびれは突然現れ、肩甲骨から指先まで走る電撃痛を伴うことが多いです。

また、腕の筋肉の間を走行する神経がどこかで圧迫されても手がしびれます。代表的なのは、手根管（しゅこんかん）症候群です。これは、正中神経が手首の靭帯（じんたい）の肥厚や炎症により圧迫されて起こります。手のビリビリした痛みで目覚め、手を振るとしびれが軽減するのを特徴とします。

治療の基本は患部の安静と炎症を抑える薬です。神経の障害による強いしびれが痛みとして感じられる、神経障害性疼痛（とうつう）には通常の鎮痛剤は効果が少ないです。薬の効果が不十分で、筋力低下がある場合は手術を検討することもありますし、長引く症状に漢方薬が効果的な事もあります。脳梗塞や糖尿病のような全身性の病気でも手がしびれることもありますので適切な診断が必要です。



地下鉄東西線「宮の沢」駅 5番出口より徒歩4分

西区

■診療科目／
脳神経外科・神経内科・整形外科
糖尿病内科・リハビリテーション科

■外来診療時間／
月～金曜 9:00～12:00・13:00～17:00 土曜 9:00～12:00

24時間救急対応

脳ドックあり

明日佳グループ
札幌宮の沢脳神経外科病院

札幌市西区西町南20-1-30（旧国道5号沿い）

☎011-664-7111